

## 諫早市勢の飛躍の時 活力ある未来へ貢献

一般社団法人 長崎県建設業協会諫早支部  
支部長 中嶋 一也



新年あけましておめでとう  
ございます。皆様におかれま

しては、新春を健やかにお迎え  
のこととお慶び申し上げます。

最近の建設業界の動向を見  
ますと、令和6年4月から改  
正労働基準法の「時間外労働  
の上限規制」が適用されまし  
た。同年6月には「第3次担  
い手3法」が成立し、処遇改  
善、労務費へのしわ寄せ防止、  
働き方改革・生産性向上への

対応が求められています。ま  
た、昨年6月から改正労働安  
全衛生規則が施行され、企業  
に対して熱中症対策の実施が  
刑罰を伴う義務として定めら  
れた。昨夏も猛暑日が常態化  
し作業効率が大きく下がって  
おり、現場実態に見合う制度  
見直しを国等へ働き掛けてい  
かなければなりません。

一方、ここ数年来建設資材  
価格や労務費の上昇など、建  
設コストは急激な高騰に見舞  
われています。公共建設投資  
の横ばいが続く中、実質的な  
工事量は減少しており、建設  
企業は適正な利潤を確保でき  
ない状況にあります。

地域建設業は、社会インフ  
ラの整備を通して地域経済を  
支える地方創生の中心的な存  
在であり、災害時には最前線  
で復旧・復興に取り組む使命  
を担っており、建設企業の安  
定的持続的な健全経営が不可  
欠であります。

長崎県及び諫早市と連携  
し、自然災害に迅速に対応す  
る備えを日頃から整えており  
ます。昨年十月には、鳥イン  
フルエンザ防疫演習を県央振  
興局と共催で開催し、建設業  
協会が担う埋却作業の訓練を  
行いました。建設機材と土木  
技術を有する建設業の強みを  
十分に発揮し、「地域の守り

手」という重責を果たしてま  
います。

さて、諫早市では、西九州新  
幹線の開業や道路インフラの  
整備、大手企業の進出や事業  
拡張、大型商業施設を核とす  
る街づくりが進められていま  
す。市勢の飛躍の時を迎え、建  
設業協会としても、諫早市の  
活力のある未来を築くべく貢  
献していく所存であります。

今後とも、建設業に対する  
ご理解ご支援を賜りますよう  
お願い申し上げます。本年が  
素晴らしい一年となりますこ  
とを心から祈念申し上げます。  
年のご挨拶といたします。

## 全ての会員団体の 等しい発展へ努力

長崎県建設産業団体連合会

会長 根々 眞悟



員団体皆様方のご支援・ご協  
力を賜りながら、産学官連携  
による建設業人材確保育成事  
業などをメインに様々な事業  
に取り組んでおります。

謹んで新年のお慶びを申し  
上げます。

長崎県建産連は、総合建設  
業、中小建設業、専門工事業  
、資材販売業、コンサルタント  
業など、県内の建設業に関わ  
る正会員23団体、賛助会員5  
団体の計28団体で構成し、会

景に人口は減少の一途をたど

っておりますが、それでも建  
設業に携わる就業人口は約5  
万人、県内総生産の約8%を  
占めたいへん重要な産業で  
す。その建設業が今後も持続  
的に発展していくためには、  
建設業に関わる全ての皆様が  
等しく発展していかなければ  
なりません。

昨年12月には、改正建設業  
法による技能者の処遇改善に  
向けた新たなルールとして、  
「労務費に関する基準」が公  
表されました。適正な労務費  
を示すことにより、技能者の  
処遇改善を図り、建設業を将  
来にわたって持続可能な産業  
として維持・発展させていく  
うえで重要なものと考えてお  
ります。このほか、あと工程  
を担う専門工事業者には当初  
契約時点で想定されない後発  
的事情によるしわ寄せ（不利  
益）が生じるなど、重層的な

また今年度は、9月に全国  
建設業の様々な側面を正しく  
理解できる貴重な団体である  
と考えています。建設業に関  
わる全ての会員団体が等しく  
発展していけるよう、これか  
ら誠心誠意努力してまいり  
ます。

3年半、様々な改革に取り組  
んでまいりました。今では、  
全ての会員団体の代表者に役  
員に就任していただき、定期  
的に役員相互の意見交換会を  
行うとともに、会員団体相互  
の結束を高めるため新年賀詞  
交歓会も毎年開催しておりま  
す。

建産連は様々な立場の皆様  
が一同に会した団体であり、  
建設業の様々な側面を正しく  
理解できる貴重な団体である  
と考えています。建設業に関  
わる全ての会員団体が等しく  
発展していけるよう、これか  
ら誠心誠意努力してまいり  
ます。

本年が皆様方にとりまして  
輝かしい1年となりますよう  
祈念いたしまして年頭のご挨拶  
とさせていただきます。

## 仕事確保と若年技能者育成に全力 魅力ある建設産業の構築目指す

一般社団法人 長崎県中小建設業協会  
会長 北村 政和



2026年、明けましておめ  
でございませう。

皆様におかれましては、新春  
を健やかに迎えのこととお慶  
び申し上げます。

昨年は、ロシアのウクライナ  
侵攻や中東紛争の長期化、トラ  
ンプ米政権による「相互関税」  
の発動など、国際情勢が不安定  
化し予測不可能な中、国内でも  
エネルギーや食料品、資材価格  
、人件費等の高騰が続く、国民生  
活や経済活動に不安要素を抱え  
るなど、内外とも様々な課題に  
直面する一年でした。

加えて、九州地区でも異常気  
象による豪雨災害が発生するな  
ど、自然災害は激甚化・頻発化  
する傾向にあり、多くの貴重な  
人命と財産が失われておりま  
す。私達、建設業に携わる者は  
地域の安全安心を確保するた  
め、国の新たな国土強靱化対策  
に協力し、社会資本の整備を着  
実に推進していく使命がありま  
す。

とは言え、建設業界において  
は、建設技能者の高齢化や担い  
手不足など、依然として厳しい

経営環境に置かれており、地域  
の守り手として持続可能な建設  
業を実現するためには、担い手  
不足の課題解決が不可欠であ  
ります。そのため、著しく低い労  
務費や短い工期の禁止などに  
よる「働き方改革と生産性向上」  
に業界を挙げて取り組むことも  
に、「時間外労働の上限規制適  
用への対応」「適切な賃金水準  
の確保」「週休2日制の導入」  
、「ICT・DXへの取組み」など、  
若者の就業に繋げられる魅力あ  
る労働条件の整備を確実に進め  
る必要があります。

しかしながら、経営資源の制  
約がある中小企業は賃上げや設  
備投資等、担い手不足打開に必  
要な生産性向上の自助努力にも  
限界があります。

私達、中小建設業協会は、地  
域のインフラ整備、住宅建設・  
リフォーム、災害対応など地域  
を支える役割を担っています。

このため、県や市町に対して引  
き続き住宅リフォーム事業や小  
規模事業予算の拡充をお願いす  
るなど、今後とも中小建設業者  
の仕事確保と若年技能者の育成  
に積極的に取り組み、関係機関  
・団体のご支援を賜りながら、  
魅力ある建設産業の構築に努め  
てまいります。

結びに、本年が皆様方にとり  
まして、輝かしい最良の年とな  
りますようご祈念申し上げ、新  
年のご挨拶といたします。